

Plan → Do → Check → Action

施策メニュー	アウトプット指標の達成状況	評価	課題	今後の取り組み
--------	---------------	----	----	---------

はしる～走行空間計画～

<p>ネットワーク路線の自転車走行空間の確保</p> <p>・歩行者の安全を第一優先とした自転車の走行空間（繋がったネットワーク化など）を整備する。</p> <p><最終目標> ネットワーク路線の自転車走行空間整備延長：154km</p>	<p>■自転車走行空間の整備延長（整備率）(km) 80</p> <p>H29目標 48km(31%) 計画改訂時 (H24) 6.4 [13%] 現況 (H29) 64.3 [134%]</p>	<p>◎自転車走行空間の整備は、H25年度に「新潟市自転車走行空間整備ガイドライン」を策定し、整備指針を示したことやH25.12の車道左側通行を基本とした道路交通法改正以降、車道の左側通行を啓発する路面表示の設置を基本としたことにより、それまでの道路改良による整備に比べてコスト縮減が図られ、目標以上に延長が延伸した。</p>	<p>・ネットワーク路線を結び主要施設の変化や自転車利用のニーズの変化、要望等を踏まえたネットワーク路線の見直しが必要である。</p> <p>・市の財政状況の悪化や道路の維持管理費の増大などにより、整備費の確保が難しくなっている。</p> <p>・地元と整備の調整がつかなかった路線など整備が後回しになっている路線の整備時期</p>	<p>・環境の変化や自転車利用のニーズ等を踏まえたネットワーク路線の見直しを行う。</p> <p>・整備費や維持管理費を考慮しつつ、より効率・効果的な整備を推進するため、ガイドラインの見直しを行う。</p> <p>・課題があり整備が後回しになっている路線の整備方法を検討する。</p>
---	--	---	--	--

とめる～駐輪計画～

<p>まちなかの駐輪場整備</p> <p>・地元商店街や交通管理者等と連携し、古町地区・万代地区の買い物などの短時間、通勤・通学などの長時間などの利用者ニーズを踏まえた駐輪場を整備する。</p> <p><最終目標> 駐輪場の収容台数 ・古町地区2,000台 ・万代地区1,000台</p>	<p>■駐輪場の収容台数（整備率）</p> <p><古町地区> (台) 2000</p> <p>H29目標 1,350台(68%) 計画改訂時 (H24) 804 [60%] 現況 (H29) 1,546 [115%]</p> <p><万代地区> (台) 1000</p> <p>H29目標 600台(60%) 計画改訂時 (H24) 313 [52%] 現況 (H29) 951 [159%]</p> <p>※951台のうち、481台は市営駐輪場、470台は民間駐輪場</p>	<p><古町地区> ◎空き地を活用した市営駐輪場の整備を行うことにより、目標以上の駐輪台数を確保した。</p> <p><万代地区> ◎車道の一部を路上駐輪場にするなど市営駐輪場の整備を行った他、民間と協力し、民間駐輪場を活用することにより、目標以上の駐輪台数を確保した。</p>	<p><古町地区> ・駐輪台数を満足する収容台数を確保したが、放置自転車は715台と依然多く、駐輪場が有効活用されていない。（下記参照）</p> <p><万代地区> ・万代地区では、駐輪場を整備するための適地がないため、民間との継続的な協力体制が必要である。</p>	<p><古町地区> ・中央区役所の古町地区への移転や大和跡地再開発などの動向に注視するとともに、周辺駐輪場への適切な誘導や民間との協力による収容台数の確保を検討する。</p> <p><万代地区> ・新潟駅の連続立体交差事業完成後の動向に注視するとともに、民間との協力による収容台数の確保を検討する。</p>
		<p>参考）駐輪需要と供給</p>		

しくみ～放置自転車対策～

<p>放置禁止区域の拡大</p> <p>・路上駐輪場を削減し、駐輪場を適正に利用していただくため、中心市街地等を対象に、駐輪場整備が整い次第、放置禁止区域を拡大するとともに、放置自転車の撤去回数も増やす。</p>	<p>・目標設定なし</p> <p>※放置自転車の拡大は、地元関係者との協議等により区域設定を検討していく。</p>	<p>・放置禁止区域の拡大について、現在、地元や関係機関と意見交換会を実施している。</p> <p><新潟駅南口地区> H34の新潟駅高架化以降に、高架下スペースを活用した駐輪場整備を検討しているが、歩道上への放置自転車が多いことから、短期対策と併せて放置禁止区域の指定についても検討を行っている。</p> <p><古町地区> 放置禁止区域について賛否が分かれており、地区全体での指定が困難であることから、一部区域での指定可否について検討を行っている。</p> <p><万代地区> 放置自転車が大幅に減少しているため、地区全体ではなく、一部区域での指定可否について検討を行っている。</p>	<p>・引き続き、地元や関係機関と意見交換会を行い、各地区の実情にあった放置自転車対策を検討する。</p>
--	--	---	---

まもる～啓発活動計画～

<p>交通安全教室の開催</p> <p>・年代や属性に応じて、これまでの取り組みや、啓発内容が異なるため、各年代に応じたきめ細やかな啓発とする。特に自転車事故の多い高齢者や中学生に対して交通安全教室の充実を図る。</p>	<p>・目標設定なし</p> <p>※交通安全教室は、新潟市以外にも多数取り組んでおり、正確な開催数の把握が困難であるため指標から除外した。</p>	<p>・交通安全教室は毎年継続的に実施しており、H24に比べてH28は実施回数が増加している。</p> <p>○幼稚園・保育園：H24 76%(203/267施設) → H28 91%(249/273施設)</p> <p>○小学校：H24 96%(109/113校) → H28 96%(104/108校)</p> <p>○中学校：H24 22%(13/58校) → H28 40%(23/58校)</p> <p>・成果が定量的に把握できないことから、成果の把握方法の検討が必要である。</p>	<p>・引き続き、各年代に応じた交通安全教室を継続的に開催するとともに、成果の把握方法についても検討する。</p>
<p>街頭での直接指導</p> <p>・自転車利用者に対し、街頭での指導活動により、自転車利用に関するルールの周知を図るとともに、ルールの順守率を高める。また、ドライバーに対する指導を検討する。</p>	<p>■1年に1回以上啓発活動を実施する整備済み路線数 (路線) 10</p> <p>H29目標 8路線 計画改訂時 (H24) 1 現況 (H29) 1</p>	<p>▲自転車走行空間整備済み路線における現地の啓発活動は、市道東港線（ラブラ万代前）の1路線のみであった。</p> <p>※無灯火、防犯灯の指導を含めるとH28は計13回の啓発活動を行っている。</p>	<p>・1路線のみの実施であり、効果が限定的である。</p> <p>・チラシを配布する際は、自転車走行中の人を呼び止めるため、警察の協力が不可欠である他、人手が必要。</p> <p>・環境の変化や自転車利用ニーズ等を踏まえて、啓発実施路線の見直しを行う。</p> <p>・地域や自転車愛好団体などへの協力依頼、現地への看板の設置などにより、現地の啓発活動を行う路線数の増加を検討する。</p>